



JICHI MEDICAL UNIVERSITY
SAITAMA MEDICAL CENTER
自治医科大学

さいたま医療センターだより

TEL.048-647-2111 FAX.048-648-5180 URL : <http://www.jichi.ac.jp/center>



(さいたま市・染谷花しょうぶ園)

センターだより 第24号 ご案内

- 地域から信頼される病院に：20年を経過して（心臓血管外科 安達教授）
- くすりの小窓・・・第2回 外用薬のいろいろ
- スタッフ紹介（集中ケア認定看護師 八木橋師長 中川主任看護師）
- 活動紹介・・・産科病棟 出産準備クラスのご紹介
- お知らせ・・・病棟リニューアル工事の開始について／診療報酬改定について
新人看護師の入职について／看護職員の募集について

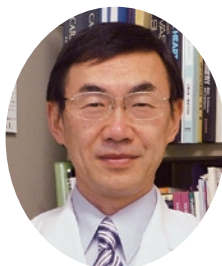
さいたま医療センター 理念・基本方針

理念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域に根ざした医療
4. 心豊かな医療人の育成

基本方針

1. 患者の皆様を尊重し、開かれた安心できる医療を提供します
2. チーム医療を推進し、安全で質の高い医療を提供します
3. 地域との連携を深め、基幹病院としての役割を果たします
4. 地域医療に貢献する医療人を育成します



地域から信頼される病院に：20年を経過して

心臓血管外科教授 安達 秀雄

センター開設後20年が経過

さいたま医療センターは開設されてから20年が経過しました。センターは1989年12月に「大宮医療センター」として診療を開始しましたので、2009年12月でちょうど20年が経過したわけです。この間に浦和、大宮、与野、岩槻の4市が合併してさいたま市となりましたので、2007年には「さいたま医療センター」と名称を変更しました。20年前、開設時の診療科は心臓血管外科を含めて6診療科で、使用ベッド数は全部でわずかに85床でした。私が当センターに助教授として赴任した1991年当時のベッド数は208床でした。その後徐々に使用ベッド数を増加させ、開設10年後の1999年には当初の建物一杯の408床が使用可能になりました。それでもスペースが手狭になったため、2008年には新館（南館）を建設して小児科と産科を開設致しました。昨年（2009年）は手術室と集中治療部を増設しました。南館の建設により200床の増床となり、現在センターの許可病床数は608床です。

途中困難にも直面した

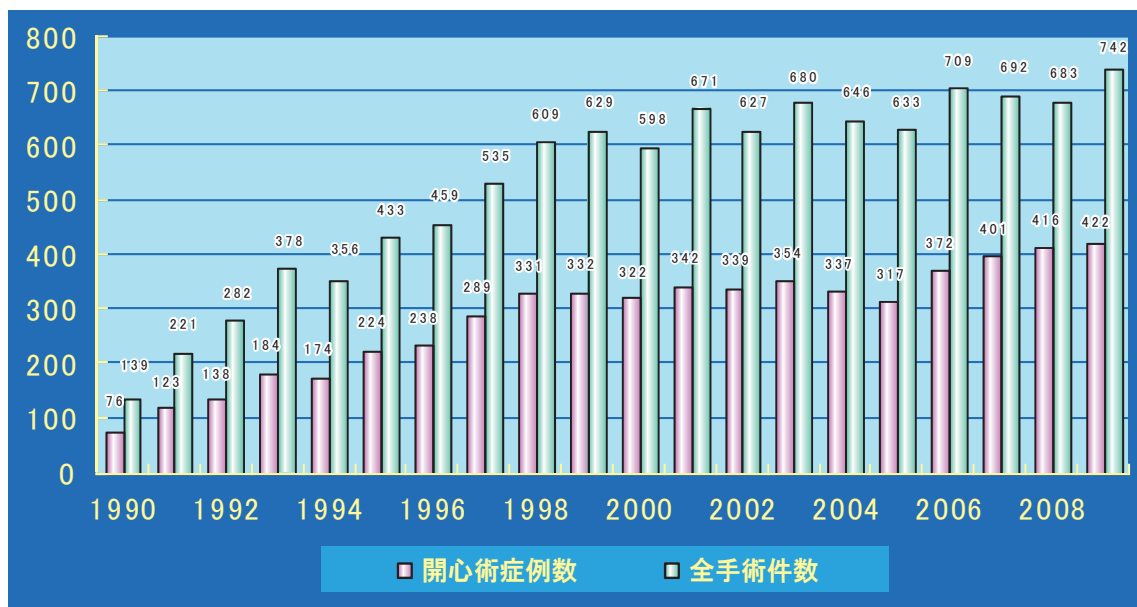
開設当時、大宮、浦和、与野、岩槻地区は人口が多い割に心臓、血管病の救急に対応できる施設が乏しく、当センターが循環器救急に積極的に取り組んだために循環器疾患の紹介患者さまが増えました。他の診療科でも同様の経過だと思います。しかし、当初からすべてが順調だったわけではありません。センターはいくつかの深刻な問題を開設時に抱えていました。一つは地元医師会との間の理解不足から両者の関係がギクシャクしていたことです。今からは想像できませんが、センターの設立が計画された段階では、地元医師会は開設に消極的でした。しかし、徐々に互いの理解が進み、センターが紹介型病院として高度医療を担い、医師会の先生方と互いに補い合いながら診療を進めていくことが理解されるにつれ、疑問は解消し、良好な友好関係が築かれました。今では重症な患者さまを積極的に紹介していただけるようになり、外来での紹介率は80%を越え、センターは文字通り地域の中核病院になっています。診療した患者さまは全てご紹介いただいた先生の元に帰っていただく方針にしています。

医師不足も深刻でした。特に救急医療や麻酔科を担当する若手医師が不足していました。しかし、これもセンターの診療が拡大するにつれ、若手医師の応募が増え、今では優秀な医師の集団として高い評価をいただいています。

次のステップに進む

開院当初はゼロからの出発だったので、診療には慎重な上にも慎重に臨みました。万が一トラブルが発生したり、治療成績が低下するようなことがあれば、すぐに診療科の廃止やセンターの閉鎖に繋がるとの危機感がありました。一人ひとりの患者さまを大切に、診療対象人数が少なかったこともありましたが、診療スタッフは全ての入院患者さまの顔を思い浮かべることができました。その後患者数が増え、一人のスタッフが全ての患者さまを記憶することは困難になりましたが、一人ひとりの患者さまを大切にすること、手術治療が真剣勝負であることには変わりありません。紹介患者さまが増え、手術件数も増加しましたので、センター存亡の危機は遠のき、センターが次のステップに進んできたことが感じられました。

循環器の分野では、心不全、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心臓病、心臓弁膜症、胸部や腹部の大動脈瘤、下肢の動脈がつまってくる閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤などを治療対象としていますが、これらの診療数では日本でも有数の治療数と良好な治療成績を示しております。本年5月には私が会長になり、日本全国から血管外科医がさいたま市に集まり、第38回日本血管外科学会総会を大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮で開催する予定です。この20年間の心臓血管外科手術数の推移をグラフで示してみました。



初心に戻る

さいたま医療センターはさいたま市に存在する唯一の大学附属の基幹病院として、スタッフ、設備を整えています。センターには、他の医療機関では対応困難な重症疾患の受け入れ要請が来ます。私はこうした緊急例、重症例にセンターが積極的に対応することこそ、センター存在の意義があると思っています。センターが地域から信頼されるのは、建物が大きいからではありません。救命を求める患者さまの要請に真摯に応え、全力を尽くして救命のために努力するからこ

そ信頼されるのです。センターが大きくなり、患者数も多くなると、スタッフや職員は無意識のうちに自分たちの都合を優先する危険性があります。そうした傾向は常に戒めなければなりません。

私は今、開設当初の初心に帰って診療を進めることが重要と感じています。センターが地域の方々から更に信頼され、循環器診療をはじめその他の様々な医療分野で日本をリードしていく成果が挙げられるよう私達は力を尽くしたいと思っています。センターがその機能を十分に発揮し、日本を代表する病院として発展していくためには、私達の努力と共に、地域の皆様からのご理解、ご協力が欠かせません。センターが地域の皆様から信頼され、より高度で満足のいく治療を提供できますよう私達は努力していきますので、関係各位の皆様には一層のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。



外用薬のいろいろ

第2回



薬剤部 副薬剤部長
大谷 幸代

今回は外用薬の「くすりの使い方」についてお話ししましょう。

外用薬とは内服薬・注射薬以外をいいますが、その種類は多く、使用部位・使用方法もそれぞれに違います。

また製剤技術の進歩は目覚しく、新しい薬はもちろんのこと、その使用方法・用量を守らないと効果も期待できません。患者さまにはそれぞれの薬について説明書等をつけてお渡しすることになっています。

ここでは代表的な外用薬の一例をあげてみます。

使用部位	種類	剤形
皮膚	塗布薬 (ぬり薬)	軟膏・クリーム・ゲル・ローション・スプレー等
	貼付薬 (はり薬)	湿布・テープ等
口腔内	塗布薬	軟膏・スプレー等
	貼付薬	口内錠剤
	含そう薬 (うがい薬)	含そう液 (使用時に散剤・錠剤を溶解するもの等)

口 腔 内	吸入薬	吸入液・スプレー・カプセル等
眼	点眼薬	点眼液・眼軟膏
耳	点耳薬	点耳液・軟膏
鼻	点鼻薬	点鼻液・軟膏・点鼻スプレー
肛 門	坐薬	坐薬
	注入薬	注入液・浣腸液・軟膏等
膣	膣坐薬	膣錠・膣坐薬

* 内服薬（のみ薬）と同様な剤形の錠剤（カプセル剤）、散剤になっている外用薬もありますので、見た目の包装容器や剤形だけで判断せずに使用目的（効果）を確認したうえでご使用ください。

例えば外用薬？内服薬？こんな包装容器や剤形がありますよ。

外 用 薬	内 服 薬
 <p>アフタッチ 口腔用貼付剤 25µg</p> <p>アフタッチ アフタッチ</p> <p>外用剤</p> <p>のまないこと 25µg</p> <p>口内貼付</p>	 <p>フロリドゲル 経口用 2%</p> <p>5g</p> <p>口腔・食道カンジダ症治療剤</p> <p>【成分】1g中、 日臨 ミコナゾールを20mg含有する。 外用薬の用法を必ずお読みください。</p> <p>MO 652 中 毒 弱 剤 記</p> <p>18A</p> <p>ゲル状</p>
 <p>サルコート カプセル 外用 50µg</p> <p>サルコート 50µg</p> <p>のまないこと</p> <p>専用の噴霧器を使用</p> <p>吸 入</p>	 <p>下剤</p> <p>下剤</p> <p>下剤</p> <p>下剤</p> <p>液体</p>

* 作用面では、局所作用（使用部位に限定して効果を期待するような軟膏・クリーム剤のような塗布薬等）と全身作用（使用部位に関係なく全身に効果を期待する薬。例えば解熱作用を期待する坐薬や鎮痛作用を期待する貼付剤等）があります。ですから、この点からも指示された使用方法・用量を守ってください。

***** 次回は、外用薬のなかで特に湿布薬について取り上げてみましょう。*****

がんばってます!

スタッフ紹介

集中ケア認定看護師
八木橋 智子

—集中ケア認定看護師になって5年目になりました。

Q. 『集中ケア認定看護師』って何をする人ですか?



A. 簡単に言うと、重症な患者さんに適した看護を専門的な知識と技術を用いて自ら行ったりスタッフに指導をしたりする看護師です。

大きな手術を受けた後の患者さんや、機械を使用しなければならぬほど病状が重い患者さんは病状がめまぐるしく変わるため、患者さんのサインをすばやくキャッチして「何が起きている??」「どうすべき?」と医師などと一緒に考えながら関わります。また、看護師スタッフへの知識・技術に関する教育・指導も行います。

一般病棟で人工呼吸器を使用している患者さんの訪問を行い、安全に管理がされているかなどの見回りもしています。

<集中ケア認定看護師から一言>

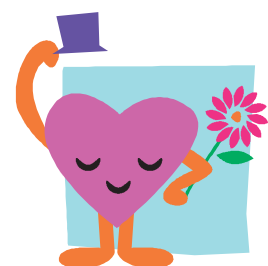
～こんな症状には要注意!! 【胸痛を感じたら…】



循環器疾患の中で、特に気をつけておかなければならない症状のひとつに「胸痛」があります。

「胸痛」といっても、重大なサインの場合と緊急性が低い場合とさまざまですが、その原因が【心臓】や【心臓の近くの大きな血管】である場合は一刻も早い対応が必要となります。もし、工作中やご家庭で突然激しい胸痛を訴える方がいたら、迷わず救急車を呼びましょう。

- 「胸痛」を感じる緊急性が高い代表的な疾患
 - ・心筋梗塞（心臓の筋肉が壊死してしまう病気）
 - ・大動脈解離または解離性大動脈瘤（心臓から全身へ送る大きな血管が裂けてしまう病気）
 - ・心筋炎（心臓の筋肉が炎症を起こしてしまう病気）



集中ケア認定看護師 中川 温美



私の活動は、集中治療室に入室される患者さまを対象として行っています。

さいたま医療センターにはICUとCCUの2つの集中治療部があり、どちらの病棟も呼吸や循環などの症状が重い患者さまに対し24時間体制で治療を行います（CCUは循環器系・心臓血管系の疾患の専門的な集中治療室のことです）。

そのような中で、集中ケア認定看護師としてスタッフ看護師とともに、患者さまの安全面に配慮しながら合併症を起こさないように治療をサポートしています。

また、患者さまやご家族の普段の生活スタイルに目を向けて、できるだけ早くもとの日常生活へ戻れるようにも支援をしています。



ICU 個室の様子



装着している機械類を常に確認しています。

自力で起き上がれない場合は、看護師がリモコンでベッドを起こすなど介助します。



< 離床の重要性をご存じですか？ >

手術後などの安静に伴う合併症の予防として、患者さまそれぞれの状態に一番適した方法での離床を支援しています。（離床とは、ベッドなどの床を離れて生活範囲を拡大していくことです）

集中治療室に入室中の患者さまは、普段よりも活動が控えめになります。機械や点滴が多くて…、手術後であれば傷が痛くて…などの理由で安静にしている期間が長くなるほど、呼吸器系への障害、筋力の低下、深部静脈血栓（エコノミー症候群のようなもの）などの合併症がおこりやすく、入院生活が長くなってしまいます。

集中治療室に入室しているうちから離床を進めて、合併症を予防しつつ、できるだけ早く普段の生活スタイルに戻れるように体を整えていきましょう。



産科病棟の活動を紹介します！

～出産準備クラス 好評開催中～



産科開設当初から準備を重ねてきた『出産準備クラス』が2009年10月にスタートしました。全3回のクラスで、皆様のマタニティライフが健やかで満足のいくものになるよう、参加型プログラムを中心にご用意しています。産科病棟スタッフが中心となって行うクラスですが、医師や栄養士と直接話せる機会もあります。

妊娠・出産・育児に関する知識を学びつつ、お友達づくりの場としても好評です。是非ご参加ください。また、パパの参加も大歓迎です。

詳細については、産科外来までお問い合わせ下さい。



☆内容のご紹介（全3回）

	第1回	第2回	第3回
対象週数	妊娠12～22週頃	妊娠22～30週頃	妊娠30週頃～
内容	☆妊娠中の身体のこと ☆医師による当院での妊娠・出産について ☆歯科衛生について ☆栄養士による妊娠中の栄養について	☆母乳のこと ☆産後のママと赤ちゃん ☆マタニティヨガ	☆お産の経過と過ごし方 ☆バースプランについて ☆病棟見学



参加者の声～アンケートから～

- ★予定日が近い妊婦さんとお話できて良かったです。
- ☆赤ちゃんを迎える心構えができました。
- ★本で見るより分かりやすかったです。
- ☆実際の出産の映像を見てイメージが湧きました。

今回ご紹介した出産準備クラスは産科病棟の活動のひとつです。
雰囲気は伝わったでしょうか？

お産も産後の経過も一人ひとり異なります。
病棟では、助産師・看護師が赤ちゃん和妈妈のペースに合わせ、
楽しく育児が出来るようお手伝いをしています。

皆さまの「幸せの芽」が大きく育ちますように…♪



お知らせ

病棟リニューアル工事を開始します

当センターでは、地域の皆様の医療需要に応えるべく病床、外来等の拡充整備を行ってきたところですが、このたび南館6階に新たに病棟を整備することになりました。

また、本館についても築20年を経過し、給排水等設備の老朽化が見られるため病棟のリニューアルを実施することになりました。

病棟リニューアルの概要は下表のとおりですが、工事に際しては細心の注意を払い、工事影響を可能な限り最小限にしたいと考えています。ご療養中の皆様には、騒音、振動、工事車輛の通行等でご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

また、工事は病棟ごとに順次行いますが、工事の前後において病棟の仮移転を行う必要がありますので、ご協力いただきますよう重ねて申し上げます。

【病棟リニューアルの概要】

工事場所及び内容	工事期間
南館6階 AB 病棟の整備	平成22年4月から12月頃まで
本館4階から6階病棟の改修	平成23年から順次実施
エネルギーセンターの設備改修	検討中

診療報酬改定のお知らせ

平成22年4月1日より診療報酬が改定されました。

このため、今までと同じ診療内容でも、自己負担額が変わることがありますのでご了承ください。

ご不明の点につきましては、医事課へおたずねください。



新人看護師が入職しました

この4月に大勢の新人看護師を迎えました。

今後は、基本的看護技術の習得、集合での技術オリエンテーションを受けた後、現場で先輩看護師のもと、実践を通して、技術指導を受けていきます。一般病棟では、新人看護師の教育が段階的に実施されるよう、看護技術・記録・夜勤の実施可能範囲を定め、それに沿って指導を進めていきます。

一日も早く一人前の看護師になれるよう、一生懸命取り組んで参りますので、温かい目で見守っていただけますようお願いいたします。



看護職員を募集しています

当センター看護部では、他県から移転してきた看護師や、育児のために退職していた看護師が数多く再就職しています。そして、自身の持つ大学病院や急性期病院での経験を活かしてがんばっています。

当センターは、もちろん忙しい職場ではありますが、それを超える充実感や自己の成長を実感できる職場です。また、なんといっても職員間の人間関係の良さが、一人ひとりを支える大きな力となっています。

皆様のお近くに再就職を考えている方がいらっしゃいましたら、当センターをご紹介ください。特に手術室や集中治療室などでの経験のある方を求めています。募集パンフレットもすぐに準備できますので、総合案内にお声をおかけください。

携帯サイトでも募集のご案内をしています。是非、ご覧ください。

携帯サイトアドレス

<http://www.jichi.ac.jp/saitamakango/>



左のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



表紙写真

表紙写真
(さいたま市・染谷花しょうぶ園)

まばゆいばかりのハナショウブ。
清々しさを胸一杯吸い込んで—

撮影：福沢事務部長

編集後記

大勢のフレッシュな新入職員を迎え、新年度がスタートしました。

緊張した面持ちで一生懸命取り組む姿があちこちで見られる時期です。

—私たち職員一人ひとりがいつまでも「初心」を忘れずにいたいものです。(Y)

